



松本ピアノ製のオルガンに触れてみませんか!

松本新一氏・花子氏に修理していただきました

多目的ホールの舞台裏からオルガンが発見されました。松本新一氏にお聞きしたところ、「2009年4月の生涯学習交流センター開館時、旧君津中央公民館にあったオルガンが当館の多目的ホール舞台裏に収納されたのではないかと。一部、音の出なかった鍵盤もありましたが、松本新一氏・花子氏の手により修理を終え、今後は当館に常設いたします。ぜひ松本ピアノ製(足踏み式)オルガンの音を体感して下さい!



オルガンの裏面「ふいご」部分
アコーディオンの様に空気を送って音を出します

～おむかい～
貴重なオルガンで演奏する際は丁寧に扱ってくださいます

文化祭展示

文化祭にて展示を行い、たくさんの方々にご覧頂きました。石井宏子市長も実際にオルガンを演奏し、郷愁を誘うあたたかな音色を奏でてくださいました。



オルガンを演奏する石井宏子市長「スウィートトーンが素敵でした」との感想をいただきました。



製造番号 #15044
関東大震災(大正12年/1923年)以前の製造(詳しい製造年は不明) 東京 月島工場にて製造

松本ピアノとは

君津市常代出身の松本新吉氏が明治時代に創立したピアノ製造メーカーです。戦前の国内三大メーカー(他は「西川オルガン」「山本」)の一つとして数えられ、当時は「児栄エのヤマハ、音色の松本」と評され人気を博していました。1900(明治33)年6月、新吉は単身アメリカへ渡り、ピアノの製造を学びました。帰国後、築地、月島と工場を築き、晩年は出身地である君津市の八重原工場での製造に携わりました。音へのこだわりを強く持ち、材木は国産を選び、その中でも響板には北海道産のエゾマツを採用、柔らかく美しい音色は「スウィートトーン」と呼ばれ、愛されています。その技術は新吉・新治・新一と三代に受け継がれました。残念ながら、1991年に八重原工場は閉鎖されましたが、現在は三代目松本新一氏によりピアノ修復が続けられ、コンサートなどで使用されています。



公民館で会おう!
成人を祝う集い
実行委員の皆さん

令和2年 周南中学校区
「成人を祝う集い」を
開催いたします

【申込み問合せ】
君津中央公民館
☎(50) 3980まで

【日時】令和2年1月12日(日)
午後2時～5時
【会場】君津中央公民館
多目的ホール

現在、実行委員会を中心に準備を進めておりますので、対象の皆さんはお越しください。仲間と一緒に思い出に残る1日を過ごしましょう。
※対象者は、平成11年4月2日～平成12年4月1日生
まれの方です。

【日時】令和2年1月12日(日)
午後2時～5時
【会場】君津中央公民館
多目的ホール



楽しく!健康に!
(11月20日の様子)

【申込】問合せ
君津中央公民館
☎(50) 3980まで



きみつの風景

Vol.2

彩りの晩秋



写楽

紅葉と翡翠 貞元



君津写真サークル 秋花火 貞元

君津中央公民館で活動している2つの写真サークルにご協力いただき、住宅地の近くにもある「きみつ」の景色をシリーズでご紹介します。



元サッカー日本代表の巻誠一郎さんが台風後(9月12日)いち早く駆けつけてくださいました。巻さんが幼児と一緒にボールで遊ぶ様子を見て、避難中の皆さんも瞬く間に笑顔に!その人柄に触れ、避難所スタッフも一層の励みとなりました。巻さんからの「思いやりの心がみんなをえがおに!」というメッセージを館内に掲示中です。ぜひご覧になってください。(美)

編集後記

おめでとう
第17回 君津ふるさとかるた大会
11月24日開催
練習の成果を発揮して大活躍!!

【団体戦】
低学年の部 準優勝(君津地区)
池田一樹・須永友幸・須永晴
高学年の部 3位(君津地区)
中谷朱里・岡田実結・林ひかり

体験日記
8月18日(日)
「おでかけさぼっと」

子育てサポーター「さぼっと」の皆さんと日本学校心理士会全国大会シンポジウムに参加するために松戸の聖徳大学へ行きました。「さぼっと」の活動紹介や地域からピアノ・サポーターを上げ、支援していく大切さについて寸劇を交えて発表しました。発表は緊張しましたが貴重な経験をさせていただきました。